

会 議 録

会議の名称	令和３年度第２回結城市地域公共交通会議
開催日時	令和３年１０月２８日（木） 午後１時３０分～午後３時００分
開催場所	市役所４階 大会議室１～３
出席者	出席委員 信清委員、青木委員（代理 永井氏）、 宮田委員（代理 宮田氏）、川上委員、服部委員、土田委員、 稲葉委員、浅野委員、坂本委員、山田委員、 牧瀬委員（代理 鈴木氏）、磯委員、 山中委員（代理 太田氏）、中村委員（代理 富山氏）、 杉山委員、鶴見委員、外池委員 欠席委員 和田委員 コンサルタント ランドブレイン（株）太田主任 事務局 企画政策課：生井課長、石島公共交通整備係長、稲葉主事
議 題	結城市地域公共交通計画について （１）目指す将来像、基本方針、計画目標等 （２）目標を達成するために行う事業及び実施主体
公開・非公開の別	公開
傍聴人の数	１名
審議内容	（１）目指す将来像、基本方針、計画目標等 （主な委員意見） ○課題の中に「高齢者等の交通弱者の移動手段の確保」とある。地域の公共交通を手厚くし、高齢者等の交通弱者を救うに越したことはないが、それに伴って費用は増大していく。移動手段の確保として、どこまで追求していくのかは難しい。 ○地域の交通を担っている地元事業者が廃業することは避けなければならないため、事業者の保護と育成が必要である。 ○基本方針では、文章の語尾が「目指します」となっているが、計画目標では「検討します」や「努めます」という言葉に置き換わり、トーンダウンしているように感じる。 （２）目標を達成するために行う事業及び実施主体 （主な委員意見） ○事業２「タクシーの有効活用による新たな交通システムの検討・導入」

	について、今後の超高齢社会に向けて事業を継続するためには、一度実証実験をやってみて、結城市に合ったやり方に少しずつ変えていく必要がある。 ○事業２について、タクシー事業者としても実証実験をしたい。巡回バスや路線バス、鉄道を合わせることで、交通弱者にとって移動手段がないという状況がなくなるのではないかな。 ○事業３「路線バスの維持・確保」について、結城市内の利用者が極めて少ないことから、公共交通機関としての役割を終えたのではないかなという意見がある。現状のまま、１民間企業が自助努力だけで続けていくのは難しい。 ○事業６「JR 水戸線の利便性向上」について、通勤通学等、若い人が利用するようになると、利用率が上がってくると思うので、そのための取り組みが必要である。また、筑西市や小山市とうまく連携すれば、利用が増えるのではないかな。 ○事業６について JR 水戸支社に対する利便性向上に向けた要望だけでなく、市として、JR 水戸線を利用して市内に人を呼び込むような取り組みも必要である。 ○事業 12「運転免許返納者への移動支援の充実」について、免許返納者への支援は、積極的に推進していくべきである。また、高齢者は、新しい制度が構築された際に、それらをすぐに利用できるとは限らない。いかに分かりやすく、使いやすような周知をしていくが課題である。
問合せ先 (事務局)	企画財務部 企画政策課 公共交通整備係 T E L 0296-34-0404 (内線) 2054 F A X 0296-32-7123 e - m a i l kikaku@city.yuki.lg.jp
そ の 他	